

害蟲驅除全書

上海新學會出版社

版權所有

害蟲驅除全書

定價大洋一元二角

編譯者

胡朝陽

出版者

新學會社

總發行者

新學會社

代發行所

各省各大書坊

上海交通路

中華民國八年八月增訂五版

例言七則

一是書據日本農學士理學博士松村松年原本譯出間有無關於我國之應用者（如論日本害蟲繁多之原因）概從割愛惟限於緒論及藥劑章數段而已餘則悉遵原本

一原著法周語淺易於實地試驗譯者不文雖不足以盡其精妙然真意則不敢稍有遺陋

一書中所稱尺寸升斗斤兩地積之類概改作中國名數以便應用雖中日改算（凡奇零與不盡之數）容有未盡吻合處而大致則自不謬

一中日氣候不同本書所載氣候悉爲中國之氣候以謀應用者之利便

一鳥獸昆蟲植物徽菌諸名詞日人已漢譯者悉仍之未譯者新譯之間有不甚確當者酌改之不能漢譯者則以音譯之

害蟲驅除全書 例言

二

一驅除法及昆蟲黴菌諸名詞下附載英文與拉丁語便參攷也

一是書頓促出版又復淺學違異之處知所不免承日本勝山農學校畢業生

吳君暑晨校訂此則余所深謝

纂 譯 者 識

害蟲驅除全書序

松村松年者本邦最熱心之昆蟲學家也君嘗肄業於札幌農學校課餘之暇跋涉山野採集標本其名稱之有疑者不敢臆說杜撰必函詢內外之昆蟲學家於昆蟲之書無不涉蹤又富於學課科智識以故其研究之所得或爲雜誌之論說或爲演說之材料其裨益於昆蟲學之進步實非淺鮮而又習勤忘勞不荒規定之學課以優等之成蹟於明治二十八年卒業洵出乎其類拔乎其萃不可多得之人才也夫昆蟲學爲至難至奧之學科我邦良師乏人雖欲研究猶乘一葉扁舟漂泊於大海之中茫無津涯今君獨以百折不撓之精神航此至難之學海乘時鼓壯反難爲易卒能出迷津而登彼岸非務實耐久者其孰能之君在札幌農學校研究室時與百千之蟲類標本爲友以古今東西之書籍爲師殫精竭力朝夕研究其着眼專在應用固以農學士精確之眼孔而

研究此昆蟲學故曩著本邦有益蟲一覽公諸世以警戒世之漫然以昆蟲爲害敵不悉中有有益昆蟲而唯殄滅是務者今又著此書以詳論驅除法蓋蟲害爲農家最大之厄難其甚焉者以萬頃之田野蒼秀之嘉禾一朝發生恆河沙數之害蟲貪食無厭卒至無一穗之穀實豈不可畏也哉昔者政府發布害蟲驅除預防之法律規定豫防之強制夫役之賦課及驅除費之支出使地方農務官防禦害蟲之慘毒於事前亦善政之一端也余披覽此篇一過喜其語淺近而法周密且又條分類屬朗若列眉正如香山說詩人人易解既可爲農務當局者之師資又可爲一般業農者之參考匪特農家之玉律實農民之寶筏也然君尙不以此小著爲滿足又欲鉤深窮奧以期達他日之造詣其志亦可謂壯矣茲應其囑聊述數語於卷端以紹介此名著於世人併述前途之布望云爾

日本佐藤昌介謹識

纂譯害蟲驅除全書序

粵稽后稷以明農敎稼世守專官至有周而隨王天下因知立國之本首在重農於是辨土宜別物性講樹藝以謀物產之生殖而於驅除害蟲尤注意焉周官所紀庶氏以除毒蠱剪氏以除蠹物蟻氏以除鼈鼈壺涿氏以除水蟲狐蜮之屬赤祓氏以除牆壁狸蟲蠟螋之屬皆設有專官以資除害於是農民之獲利益厚而農爲邦本之基亦因之益固後世農政廢弛蟲學以湮而病農之害蟲乃以孳生長養發育於大陸有天然之淘汰無人爲之祛除良可痛哉今歲江浙被災之區水旱而外又有蝗害聞官是土者或設醮以祈禱之或派員以捕捉之而皆歸無效吾於是不能不歎歐美諸國農學之發達農民之開通知哀籲鬼神之無靈也而從事於人爲知僅恃捕捉之寡效也而濟之以藥法設誘燈鳴金器燃薰烟施陷阱莫不因地制宜對症發藥以掃蕩之而肅清之其

尤妙者則如散布毒劑利用電氣保益蟲以降服之護益鳥以剋制之而猶慮其噍類之不能盡絕也或驅飼犬以噉斃之或輸敵蟲以尅滅之諸如此類不勝枚舉其有補於農業爲何如哉日本農學士理學博士松村松年昆蟲學家之巨子也著有害蟲驅除全書網羅歐美新法探索中東要術足以應用於無窮固非徒小補云爾也余見而寶貴之因不揣鄙陋亟爲逐譯以供中等農學校教員學生之研究及一般農民之應用蟲學明而農業庶幾有起色乎

纂譯者奉化胡朝陽自序

害蟲驅除全書目錄

總論

一葉

第一章 農業驅除法

十二葉

(一) 簿把法

十二葉

(二) 犁入法

十三葉

(三) 壓殺法

十三葉

(四) 灌溉利用法

十四葉

(五) 輪作利用法

十五葉

(六) 杭害砧木利用法

十六葉

(七) 播獲利用法

十六葉

(八) 化學肥料利用法

十七葉

(九) 溫床利用法	十八葉
(十) 作物誘殺法	十九葉
(十一) 耕耘利用法	二十一葉
第二章 人工驅除法	
(一) 燈火誘殺法	二十一葉
(二) 燒殺法	二十三葉
(三) 燻烟法	二十七葉
(四) 食物誘殺法	二十八葉
(五) 白布誘殺法	二十葉
(六) 潛所誘殺法	二十二葉
(七) 網羅捕獲法	三十五葉

(八) 打落捕獲法	三十七葉
(九) 穿陷捕獲法	四十一葉
(十) 遮斷法	四十二葉
(甲) 被囊法	四十二葉
(乙) 輪環設置法	四十三葉
(丙) 綿布設置法	四十六葉
(丁) 檄障設置法	四十七葉
(戊) 明溝設置法	四十九葉
(十一) 發響法	五十一葉
(十二) 捕殺法	五十一葉
(A) 赤手捕殺法	五十二葉

(B) 器具捕殺法.....	五十二葉
(十三) 電殺法.....	五十四葉
第三章 藥劑驅除法.....	五十六葉
第一節 脂油類.....	五十八葉
(甲) 石腦油.....	五十八葉
(乙) 石油.....	五十八葉
(丙) 魚油.....	六十一葉
(丁) 爹兒.....	六十一葉
(戊) 茴麻子油.....	六十四葉
(己) 有加利油.....	六十五葉
(庚) 的列並底油.....	六十六葉

第二節 浸汁劑

(A) 烟草	六十七葉
(B) 黃棟樹	六十八葉
(C) 馬醉木	七十葉
(D) 苦參	七十一葉
(E) 山馬蝗	七十二葉
(F) 煮竹草	七十二葉
(G) 山棟	七十三葉
(H) 黃蘗	七十三葉
(I) 胡桃	七十四葉
(J) 蒜黎蘆	七十四葉

害蟲驅除全書 目錄

六

(K) 飛燕草	七十五葉
(L) 莼草	七十六葉
(M) 除蟲菊	七十六葉
(N) 桃葉	七十八葉
(O) 蠕毒草	七十八葉
(P) 秦椒	七十八葉
(Q) 番椒	七十九葉
(R) 樟	七十九葉
(S) 木藜蘆	七十九葉
(T) 醉魚草	八十葉
(U) 松	八十葉

(V) 天竺桂	八十葉
(W) 蓮草	八十葉
(X) 烏白木	八十一葉
(Y) 實芟答利斯	八十一葉
第三節 化學藥劑	
(A) 石炭酸	八十二葉
(B) 二硫化炭素	八十三葉
(C) 安息香酸	八十五葉
(D) 石灰	八十六葉
(E) 硫黃	八十八葉
(F) 食鹽	九十二葉

- (G) 明礬 九十三葉
(H) 綠礬 九十四葉
(I) 丹礬 九十四葉
(J) 猛汞 九十四葉
(K) 鉀素鹽類 九十五葉
(L) 亞莫尼亞 九十五葉
(M) 瓦斯石灰 九十七葉
(N) 紫色砒石 一百三葉
(O) 綠色砒石(亞砒酸銅) 一百六葉
(P) 亞砒酸鉛 一百九葉

(R) 青酸加里(附青酸瓦斯).....一百十葉

(S) 納富太林.....一百十四葉

(T) 硝酸安息香.....一百十五葉

(U) 安知拿寧.....一百十六葉

(V) 瓦斯類.....一百十七葉

第四節石鹼劑.....一百十八葉

(A) 鯨油石鹼.....一百十九葉

(B) 軟石鹼.....一百二十葉

(C) 藥石鹼.....一百二十一葉

第五節合劑類.....一百二十一葉

(A) 石油乳劑.....一百二十一葉